

## 何にでも頑張ろうとし、自己批評のできる体育教師に・・・

岡崎市立北中学校 荻野 卓寛

教員生活38年間、体育部の皆様には大変お世話になりました。

体育部の諸先輩方、同級生、そして後輩の皆様には、これまで温かい励ましや的を射たご指導を随分いただき、本当に感謝しています。

時に、自分が調子に乗り過ぎたり、生意気なことを言ったりしてしまった時、厳しく叱責をいただいたこともあります。そうした貴重な経験があつてこそ、自分を見つめ直し、大いに反省し、前進する機会もたくさん与えていただけたと思います。

体育教師は明るく爽やかで元気な人種が多いと思います。ですので、部活動や生徒指導、学級経営など、子供や周りの先生、保護者からも慕われ、頼りにされる先生が多いと思います。しかし、自分が得意な分野の活動をとことん極めることも大切ですが、私は、「何にでも頑張ろうとする」のが体育教師だと思います。授業で子供たちをやる気にさせ、諸会議でも建設的な発言をし、教職員とも上手にコミュニケーションを取り、学校経営に関することにも自分なりの考えを持ち、今の世情についても強い関心を抱くなど、「何事にも興味を持ち、研鑽に努める」そんな、教師であるべきだと考えます。

とは言え、「子供たち、教職員、学校のために良かれと思って実行したこと」であっても、みんなに迷惑を掛けたり、失敗したりすることも時にあるかと思えます。そんな時は、素直に自己批評をし、次のステップに繋げることのできる、謙虚な体育教師であっていただきたいと思えます。長い間ありがとうございました。

## 忘れられない体育教師

岡崎市立井田小学校 山本 照司

切なる願いも天に届かず。大運動会の最中、雨が降り出した。来賓席テントの外に出て、一人雨に打たれ子どもたちを見つめる校長の姿があつた。雨足が強まっても、テントに戻ろうとはしない。体育主任であった私は、校長がどのタイミングで中止の命を下すのか、心の準備とともに指示内容を考えていた。

プログラムが組立体操にさしかかった。運動場が多量の水分を含み、表面が光り出した。安全面を考慮してここで中止だろうと思っていた。ところが、その姿に、中止という気配がまったく感じられない。子どもたちはというと、雨に打たれたことで、むしろ真剣味に火がついたように演技に熱がこもる。ぬかるんだ運動場という悪条件の中、泥だらけになりながらも見事に演技するという一種異様でありながら、最高の舞台ができあがっていた。

雨の状態と子どものモチベーションを見ての決断だったと後で聞かされ、雨だけを見ていた私と、子どもを中心に全てを見通していた校長との違いに衝撃を覚えたことを思い出す。授業であれ、行事であれ、部活であれ、子どもたちの活躍する最高の舞台をつくり出すのが体育教師としての使命ということ、その後ろ姿で学ばせてもらった。

## 「感動＝夢×努力×教師」

岡崎市立常磐南小学校 太田 一弘

常磐南小学校を最後に退職します。昭和57年4月着任以来38年の永きにわたり、多くの先輩諸兄、同僚教職員の方々、地域や保護者の方々にひとかたならぬご指導やご厚情を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

思い起こせば、担任した学級の男子生徒に胴上げされた新任1年目の修了式、最後の点呼で生徒の名前を呼びながら涙した2年目の卒業式、選手に恵まれ初優勝した市民駅伝、そして3年目の県駅伝の優勝など、数々の思い出とともに、38年が過ぎようとしています。体育の授業、学級生活、生徒指導、部活動・・・多くの子供たちと関わりながら、たくさんの感動をもらいました。特に担当した陸上部においては、男子4×200mリレーの全国準優勝はじめ10回を超える全国出場、駅伝部においては、竜海中での市民駅伝初優勝、県駅伝初優勝、六ツ美北中での市民駅伝初優勝、県駅伝初優勝、全国駅伝初出場等々は生涯忘れることのない素晴らしい思い出です。

「努力は必ず報われる」「感動こそ人を大きく成長させる」「感動＝夢＋努力」は、苦しい練習に励み努力を続けた子供たちが教えてくれた言葉です。くしくも本年度、六ツ美北中女子駅伝部が全国優勝を果たしました。これまで永きにわたり陸上競技に携わってきた一人として、こんなにうれしいことはありません。

今、働き方改革によって、小・中学校ともに部活動の縮小、中学校の駅伝部廃止などが進められている中、体育部に課せられた使命は大変大きいものがあります。子供たちが「夢」を持ち、精一杯「努力」することによって「感動」する体験、そして、小・中学校時代のそうした「感動」体験こそが、残りの長い人生を豊かなものにしてくれるように思います。どうか自分の信念を貫き、一人でも多くの子供たちを感動の場に導いてください。

## 今こそ、子供たちを引きつける努力を

岡崎市立美合小学校

畔柳 朋典

教員の働き方改革が叫ばれ始め、ここぞとばかりに割愛されたのは部活動の時間で、ここ2年間の軽減策と言ったら、飛ぶ鳥を落とす勢いがごとくである。反面、愛知県では、体力テストの成績は散々だし、それは全国的に見ても同様である。小学校に於いては、低学年では外で遊ぶとする子供たちはまだいるとは言え、3年生くらいになるとスマホゲームに味をしめた子供たちは、公園に足を運ぶ機会が一気に減ってしまう。いえいえ、公園にスマホゲームをしに来る子供もいるようである。子供たちの運動能力・体力は、際限なく地の果てに突き落とされている状況である。国語と同じように、体育は学習の基礎である。健康でなければ、強い体力を持ち合わせていなければ、厳しいストレス社会を乗り切るベースが崩れてしまう。そう考えるのは私だけであろうか。

こんな時代に教科体育を専門とする教師はどうすればいいのか。有効活用できるのはゲーム機を持ち合わせていない学校生活での、それも放課の時間だと思う。子供は風の子である。子供たちが体を動かして遊びたくなるような「場」を作り出す必要がある。何もしないのでは企業努力が足りない民間では言われるだろう。今こそ、子供たちにとって魅力ある運動の場をどうすべきか考え、子供任せにしない、そんな賢い工夫が必要である。新任の頃、放課に跳び箱を出して子供たちに跳ばせていた。50m走を単純に計ってやるだけでも子供たちは集まってくる。縄跳び用ジャンピングボードなどは、比較的簡単に作ることができる。

慌てず急がず、されど長い目では、子供たちの体力のことを考える必要があるだろう。

岡崎市体育部の皆さんの今後のご活躍をお祈りしたい。



## 器械運動のすすめ

岡崎市立竜美丘小学校

鈴木 明

近年の働き方改革に伴い、どこの学校でも行事の見直しが進んでいます。運動会も例に漏れないところでしょう。練習日数や時間の短縮、学区との共催、演技なしで競争遊戯のみなど、各学校、学区の事情によって様々です。本校の運動会は、学校単独で行っていますが、奇数学年は競争遊戯、偶数学年は、学年演技としています。そのため、毎年練習時間に追われるということはありません。長年続いているもので、合理的に計画されたものだと思います。

一昨年、学年演技の内容を一部変更しました。2年、4年が共に表現運動だったものを、4年生は、器械運動としました。変更するには、様々な課題がありました。①運動場で使えるマットや跳び箱がない ②演技時間10分という制約の中で160名の運動量をどう確保するのか ③演技として魅せるものにできるのか・・・

①については、近隣小学校の協力を得て、何とか12組の跳び箱とマットを確保しました。②③については、器具の配置、使用方法、準備の仕方、演技中の移動などを工夫することで、何とかクリアしました。1人1人の演技回数を増やすためには、演技ができる場所を増やすことが重要でした。段数の低い跳び箱では、マットを置かずにできる技にしたり、移動手段に側転を披露したりすることで、座って待つ時間を無くしました。器具の配置を早期に決定し、練習段階から、一人一つの器具を割り当て、準備時間の短縮と安全に努めました。

何よりも、子供たちと教師が、ともすると敬遠しがちな器械運動に一生懸命に取り組んだことが、大きな収穫となりました。器械運動に必要な逆さ感覚は、低学年のうちに身につけておくことが大切なのです。

## スポーツを通しての出会いに感謝

岡崎市立夏山小学校

佐藤 孝子

私が幸せな教員生活を送ることができたのは、人と出会い、心動かされ、自分が少しずつ背伸びすることができたからです。特に体育部の皆様には、本当にお世話になりました。感謝申し上げます。

私が体育教師を目指したのは、中学のテニス部での経験からです。恩師からスポーツの意義や楽しさを学び、私にとって初めての自己有用感を持つことができました。大学時代には新体操・ダンスの領域にはまり、教員になるとその経験を活かして、子供たちと楽しみながら身体で表現し、創作する機会をたくさん持てました。その間、体育主任や学年主任、部活動の主顧問をやりながら、子育てライフとも重なっていましたが、家族の理解や、同僚からの協力、切磋琢磨できる友人からのアドバイスなどがあって乗り越えられました。

部活や市の体育的行事で共に汗を流した先輩や仲間とは、腹を割って話をすることができました。担任をしていなくとも、部活での教え子たちは、今でも会えば話が弾みます。スポーツは、だからこそ国境を越えて心通わすことができる平和の祭典だと思います。いよいよオリンピック開催年です。2月の月曜集会校長の話で、「ガイドランナーを体験しよう」を行いました。パラリンピックでの笑顔の視覚障害者ランナーである道下美里さんを紹介し、アイマスクを付けてのランナー役と、ガイド役を児童に体験させました。その後行った長縄8の字跳びでは、パラリンピックの価値「一人一人の違いを理解して工夫すれば、誰もが自分のベストを尽くすことができる」を示しました。苦手な子を練習に参加させようと奮闘したリーダーの感想です。「一人も欠けることなく、ベスト記録が出せたことが嬉しい」。素敵な夏山小の子供たちとの出会いに感謝です。

今号では、ご退職をされる校長先生方のお言葉を掲載しましたが、今年度をもってご退職をされる12名の体育部の先生方には、たいへんお世話になり、常に私たちの目指すべき道を照らしていただきました。感謝の言葉は尽きません。長い間、本当にありがとうございました。